

## 有隣堂 藤沢店「SAYONARA FESTIVAL」シリーズ第3弾

## 2月12日より「真冬のホラー」企画展を開催

～“夏の風物詩”を冬に再編集。2つの「13日の金曜日」を挟む1か月間～

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市中区、代表取締役 社長執行役員：松信 健太郎）は、2026年2月12日（木）～3月15日（日）の期間、有隣堂 藤沢店にて企画展「真冬のホラー」を開催いたします。

本企画は、同店舗の閉店までの2年間で「未来の書店を試す社会実験期間」と位置づけた「SAYONARA FESTIVAL」シリーズの第3弾です。

ホラーや怪談＝夏という固定観念をあえて外し、“真冬にこそ沁みる恐怖”を切り口に、ホラー文学・映画・カルチャーを「読む／眺める／集める／味わう」体験として立体的に提示します。

さらに開催期間中には「13日の金曜日」（2月・3月）が2回含まれます。この偶然を“仕掛け”として、2/13（金）～3/13（金）の1か月間を中心に、日常に潜む不安やスリル、怖いもの見たさの心理に光を当てる企画展です。



**「真冬のホラー」**

冬という冷たさ、静けさの中でこそ際立つ「恐怖」「不安」「想像力」。怖いのに見たい、読みたい、やめられない…

開催期間中には「13日の金曜日」が2回含まれます。この偶然を“仕掛け”として、2/13（金）～3/13（金）の1か月間を中心に、日常に潜む不安やスリル、怖いもの見たさの心理に着目した企画展。

角川ホラー文庫や、横溝正史シリーズの杉本文の表紙絵、様図かずおのアンソロジー、古典から最新「ホラー」に関する考察、ジェイソンやベニーワイズ、チャッキーの映画グッズ、あの中西怪奇菓子工房。のギフトボックスなど充実のラインナップ。

有隣堂藤沢店 presents

開催場所：2F 2/12 THU.～3/15 SUN.

2年間の SAYONARA FESTIVAL 有隣堂

## ■開催概要

- 企画展名：真冬のホラー
- 会期：2026年2月12日（木）～3月15日（日）
- 会場：有隣堂 藤沢店 2F
- 内容：関連書籍フェア／パネル展示／グッズ販売／スイーツ企画

## ■本企画の背景

### ●「冬にホラー」を提案する理由

ホラーや怪談は「夏の風物詩」というイメージが定着していますが、海外ではハロウィンやクリスマスなど、“季節の心理的ギャップ”が恐怖を増幅する文化的背景があります。

本企画では、冬という静けさの中でこそ際立つ「恐怖」「不安」「想像力」をテーマに、ホラーを再編集します。

### ●「人はなぜホラーを求めるのか」を入口にした選書

怖いのに見たい、読みたい、やめられない。

本企画では、ホラーを単なる娯楽としてではなく、心理・社会・文化の観点から読み解く関連書籍を展開します。

### ● 古典～現代まで、ホラーの系譜をたどる

19世紀のゴシックホラーから、パルプ誌、映画の隆盛、Jホラー、SNS拡散型の“現代の怖さ”まで。

作品単体ではなく、時代背景（メディア環境）とともに俯瞰できる棚づくりを行います。

## ■展開内容

### ● 特集：人はなぜホラーを求めるのか

“怖いのに惹かれる”感情を、複数の切り口で扱う書籍を集めます。

- ・進化心理学的アプローチ（恐怖＝生存のシミュレーション）
- ・若者文化・通過儀礼としての恐怖体験
- ・「カリギュラ効果」（禁止されるほど見たいくなる心理）
- ・ホラーと激辛など、刺激と快楽の関係
- ・「中毒」としての消費行動

### ● 特集：冬こそ味わいたいホラー小説（古典から現代まで）

ホラーの変遷を、作品と時代背景をあわせて紹介します。

#### 1. ゴシックホラーの源流

- ・『フランケンシュタイン』メアリー・シェリー
- ・『吸血鬼（ヴァンパイア）』ジョン・ポリドリ
- ・『ドラキュラ』ブラム・ストーカー
- ・『ジキル博士とハイド氏』R.L.スティーブンソンほか

#### 2. パルプ誌「Weird Tales」と怪奇小説の拡張

- ・ラブクラフト／ロバート・ブロックほか

#### 3. 映画の隆盛と、王道ホラーの確立

冬の閉塞感・隔絶を描く作品群として、スティーヴン・キング作品を中心に展開します。

- ・『シャイニング』
- ・『ミザリー』ほか

#### 4. 「13日の金曜日」、「チャイルド・プレイ」特集（80年代ホラー黄金期）

レンタルビデオ時代を象徴するホラー作品を取り上げます。

## 5. 日本のホラーの系譜

- 小泉八雲など怪談文化の源流
- SNSで拡散する“現代の怖さ”（都市伝説／スポット／事故物件等）
- Jホラーの現在（鈴木光司氏から雨穴氏、背筋氏などに連なる系譜）
- 椋岡かずおの世界（KADOKAWA「こわい本」「ゾクこわい本」シリーズ、「妖怪伝 猫目小僧DVD BOX」の販売）

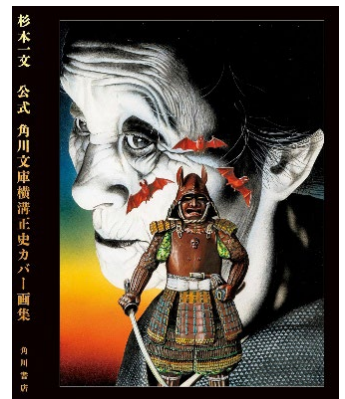


### ● パネル展示

「横溝正史」角川文庫 表紙の世界

角川文庫の表紙パネル展示とあわせ、横溝作品のフェア展開をします。

杉本一文氏の画集は見ごたえたっぷりです。



### ● グッズ販売

さまざまなゾンビたち。ホラー映画が生み出してきたキャラクターや小物を、コレクターズアイテムとして展開します。

- ゾンビフィギュア
- 「IT」ペニーワイズ関連
- 「13日の金曜日」ホッケーマスク（ジェイソン）等

### ● スイーツ企画

Trick or Treat : 「中西怪奇菓子工房。」のスイーツアソート販売“怖さ”や“スリル”が心拍数を上げ、ときに感情を揺らします。期間中に2度訪れる「13日の金曜日」と、バレンタイン／ホワイトデーの季節性を掛け合わせ、贈り物にもできるスイーツ企画を販売します。



### ● トークイベント

- イベント名：朝宮運河 著『日本ホラー小説史』刊行記念トークショー＆サイン会
- 開催日時：2026年2月28日（土）13:00～15:00
- 会場：藤沢名店ビル 6F「Bホール」（有隣堂 藤沢店 同ビル内）
- 参加条件：対象書籍『日本ホラー小説史』のご購入＋参加費500円
- 定員：先着20名（事前予約制）



## ■有隣堂 藤沢店「SAYONARA FESTIVAL」について

2025年で開店60周年を迎えた有隣堂 藤沢店は、再開発事業に伴い2027年末をもって営業を終了する予定です。

長くご愛顧いただいた皆さまと、ゆっくりお別れをしたい。

そんな思いから、2025年11月1日（土）から約2年間、“これからの書店”をテーマにした実験的企画展シリーズ「SAYONARA FESTIVAL」を開催しております。

1～2か月ごとにテーマを変えた展示・書籍販売・イベントを通じて、「本との新しい関わり方」を提案していきます。（今後はイベントを通じて、藤沢市民の皆さまと交流しながら、新しいコミュニティを作っていければと考えています。）

閉店までの時間を、“終わり”ではなく“これから”を考えるきっかけに。

ぜひ、藤沢店で一緒にその変化を見届けてください。



## ■株式会社有隣堂について

創業116年の神奈川、東京、千葉、兵庫、大阪に43店舗（2026年2月5日時点）を展開する書店。複合型店舗では、カフェや居酒屋、アパレルショップなどの運営も行っています。また、楽器・音楽教室、図書館・地区センターの運営受託、ビジネスソリューションサービスおよびOA機器の販売、出版事業など、多様な事業展開を通して地域社会に貢献しています。

HP : <https://www.yurindo.co.jp/>